

# CONTROL SYSTEM FOR DIGITAL CAMERA

**Publication number:** JP2000287110 (A)

**Publication date:** 2000-10-13

**Inventor(s):** TSUNODA NAOKI +

**Applicant(s):** RICOH KK +

**Classification:**  
- international: H04N5/225; H04N5/225; (IPC1-7): H04N5/225

- European:

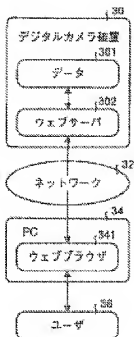
**Application number:** JP19990093849 19990331

**Priority number(s):** JP19990093849 19990331

## Abstract of JP 2000287110 (A)

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To easily refer to and edit a file stored in a digital camera without the need for installation of a specific application to a PC.

**SOLUTION:** A JPEG file stored in a memory built in a digital camera 30 is used to automatically create a thumbnail HTML document. A JPEG display part and a file name are linked to the HTML document displayed with the original resolution. The index HTML document is automatically generated from the JPEG file name in the memory to generate the HTML document with operations capable of basic operations with respect to files in the memory. A CGI capable of various operations is inserted in an in-line in the HTML document as the operation, and the HTML document including thumbnail display, index display and operation display is displayed at once as a multiple frame display.



Data supplied from the **espacenet** database — Worldwide

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>

識別記号

F I

データベース(参考)

H 0 4 N 5/225

H 0 4 N 5/225

F 5 C 0 2 2

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 13 頁)

(21)出願番号

特願平11-93849

(22)出願日

平成11年3月31日(1999. 3. 31)

(71)出願人

000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号

(72)発明者

角田 直規

東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号 株式

会社リコー内

(74)代理人

100089118

弁理士 酒井 宏明

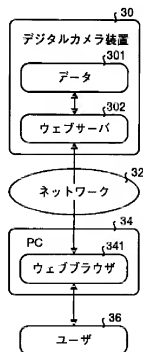
Fターム(参考) 500/2 AA13 AB68 AC01 AC13 AC69

## (54)【発明の名称】 デジタルカメラ装置の制御システム

## (57)【要約】

【課題】 PC側に特別なアプリケーションを搭載することなく、デジタルカメラ装置内に格納されているファイルの参照や編集が容易に行えるようにする。

【解決手段】 デジタルカメラ装置30に内蔵されたメモリ内のJ P E Gファイルから自動的にサムネールのH T M Lドキュメントを作成する。J P E G表示部分やファイル名は、元の解像度で表示するH T M Lドキュメントがリンクされている。メモリ内のJ P E Gファイル名から自動的にインデックスのH T M Lドキュメントを作成し、メモリ内のファイルに対する基本操作を可能としたオペレーションのH T M Lドキュメントを作成する。オペレーションとして各種操作が可能なC G IをH T M Lドキュメント内のインラインに挿入し、サムネール表示、インデックス表示、およびオペレーション表示のH T M Lドキュメントを多重フレーム表示として一度に表示する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 デジタルカメラ装置とユーザが操作するパーソナルコンピュータとがネットワークを介して接続され、パーソナルコンピュータの汎用的なウェブ・ブラウザを通して制御可能なサーバ機能を持ったデジタルカメラ装置の制御システムであって、前記デジタルカメラ装置のメモリ内のJPEGファイルから自動的にサムネールのHTMLドキュメントを作成する手段と、

前記JPEGファイルの情報として、編集用のシーケンス番号、記録画素数、記録モード、画質モード、撮影モード、ファイル名、ファイルサイズ、あるいは撮影日時などを表示させる手段と、

前記メモリ内のJPEGファイル名から自動的にインデックスのHTMLドキュメントを作成する手段と、

前記メモリ内のファイルに対する基本操作を可能とするオペレーションのHTMLドキュメントを作成する手段と、

前記オペレーションとしてファイルの削除、ファイル名の変更、ファイルのコピー、あるいはサムネールの表示方式などの操作が可能なCGIなどをHTMLドキュメント内のインラインに挿入する手段と、

前記サムネール表示のHTMLドキュメント、インデックス表示のHTMLドキュメント、あるいはオペレーション表示のHTMLドキュメントを多重フレーム表示として一度に表示する手段と、

を備えていることを特徴とするデジタルカメラ装置の制御システム。

【請求項2】 前記サムネール表示を行う場合は、連射撮影やインターバル撮影などの撮影モードで撮影されたJPEGファイルを表示する際にJPEGイメージを重ね合わせて表示する手段と、その重ね合わせたJPEGイメージをある適当な時間間隔で切り替えて表示する手段と、連射撮影やインターバル撮影などの撮影モードで撮影されたJPEGファイルから重ね合わせ表示や切り替え表示を実現するJavaアプレットを自動的にHTMLドキュメント内のインラインに挿入する手段と、をさらに備えていることを特徴とする請求項1に記載のデジタルカメラ装置の制御システム。

【請求項3】 デジタルカメラ装置とユーザが操作するパーソナルコンピュータとがネットワークを介して接続され、パーソナルコンピュータの汎用的なウェブ・ブラウザを通して制御可能なサーバ機能を持ったデジタルカメラ装置の制御システムであって、前記デジタルカメラ装置のメモリ内のJPEGファイルから自動的にHTML編集用の基本テンプレートに基づいてHTMLドキュメントを作成する手段と、

前記HTMLドキュメントの写真部分には前記請求項1で選択されたJPEGファイルをシーケンシャルに挿入する手段と、

HTMLドキュメントに表示されている写真情報や文書情報に編集用の番号をシーケンシャルに割り振る手段と、

複数のHTML編集用のテンプレートを選択可能にするHTMLドキュメントを作成する手段と、

HTMLドキュメント内の写真情報と文書情報を編集するための操作が可能なCGIなどを含んだHTMLドキュメントを作成する手段と、

HTML編集用のHTMLドキュメント、テンプレート選択用のHTMLドキュメント、および編集操作用のHTMLドキュメントを多重フレーム表示として一度に表示する手段と、

を備えていることを特徴とするデジタルカメラ装置の制御システム。

【請求項4】 前記テンプレート選択用のHTMLドキュメントを作成する場合は、他のサーバ及びパーソナルコンピュータに格納されているHTMLテンプレートを参照することができるリンクを表示する手段と、前記リンク先が指示された場合に、参照先に格納されているテンプレートドキュメントを自動的にFTPなどのファイル転送で獲得し、その複数のHTML編集用のテンプレートを選択可能にするHTMLドキュメントを作成する手段と、をさらに備えていることを特徴とする請求項3に記載のデジタルカメラ装置の制御システム。

【請求項5】 前記テンプレート選択用のHTMLドキュメントを作成する場合は、他のサーバ及びパーソナルコンピュータに格納されているHTMLテンプレートの格納先を前記ユーザが任意に指定する手段と、前記格納先を指定した場合に、参照先に格納されているテンプレートドキュメントを自動的にFTPなどのファイル転送で獲得し、その複数のHTML編集用のテンプレートを選択可能にするHTMLドキュメントを作成する手段と、をさらに備えていることを特徴とする請求項3に記載のデジタルカメラ装置の制御システム。

【請求項6】 デジタルカメラ装置とユーザが操作するパーソナルコンピュータとがネットワークを介して接続され、パーソナルコンピュータの汎用的なウェブ・ブラウザを通して制御可能なサーバ機能を持ったデジタルカメラ装置の制御システムであって、前記デジタルカメラ装置に最初にアクセスする時に、前記ユーザを識別するパスワードやIDを入力するHTMLドキュメントを作成して表示させる手段と、前記パスワードやIDに対して、前記請求項1における表示方式のデフォルト値、前記請求項3におけるテンプレートのデフォルト値、前記請求項4および前記請求項5における参照先のデータなどを前記デジタルカメラ装置側で記憶しておく手段と、

前記パスワードやIDに対応したユーザデータを使って前記請求項1における表示方式のデフォルト値、前記請求項3におけるテンプレートのデフォルト値、前記請求

項4および5における参照先のデータなどを表示する手段と、  
を備えていることを特徴とするデジタルカメラ装置の制御システム。

【請求項7】 デジタルカメラ装置とユーザが操作するパーソナルコンピュータとがネットワークを介して接続され、パーソナルコンピュータの汎用的なウェブ・ブラウザを通して制御可能なサーバ機能を持ったデジタルカメラ装置の制御システムであって、  
前記請求項1における表示方式のデフォルト値、前記請求項3におけるテンプレートのデフォルト値、前記請求項4および5における参照先のデータなどをクッキー技術を使って前記ウェブ・ブラウザのクライアント側にユーザデータを作成して記憶する手段と、  
前記クライアント側で作成された前記ユーザデータを使って、前記請求項1における表示方式のデフォルト値、前記請求項3におけるテンプレートのデフォルト値、前記請求項4および5における参照先のデータなどを表示する手段と、  
を備えていることを特徴とするデジタルカメラ装置の制御システム。

【請求項8】 デジタルカメラ装置とユーザが操作するパーソナルコンピュータとがネットワークを介して接続され、パーソナルコンピュータの汎用的なウェブ・ブラウザを通して制御可能なサーバ機能を持ったデジタルカメラ装置の制御システムであって、  
前記デジタルカメラ装置に最初にアクセスする時に、前記ウェブ・ブラウザのクライアント側のIPアドレスに対して、前記請求項1における表示方式のデフォルト値、前記請求項3におけるテンプレートのデフォルト値、前記請求項4および5における参照先のデータなどをデジタルカメラ装置側で記憶しておく手段と、  
前記IPアドレスに対応したユーザデータを使って、前記請求項1における表示方式のデフォルト値、前記請求項3におけるテンプレートのデフォルト値、前記請求項4および5における参照先のデータなどを表示する手段と、  
を備えたことを特徴とするデジタルカメラ装置の制御システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、デジタルカメラ装置の制御システムに係り、更に詳しくは、デジタルカメラ装置とパーソナルコンピュータとがネットワークを介して接続され、パーソナルコンピュータの汎用的なウェブ・ブラウザ（Web Browser）を通して制御可能なサーバ機能を持ったデジタルカメラ装置の制御システムに関する。

【0002】

【従来の技術】 コンピュータの重要な用途の一つに、ネ

ットワーク上での情報転送がある。現在存在している最大のコンピュータネットワークは、インターネット（Internet）である。インターネットとは、共通のプロトコルを使用して通信を行う世界的なコンピュータネットワークの相互接続網のことである。このインターネットには、ローエンドのパーソナルコンピュータから、ハイエンドのスーパーコンピュータまで、さまざまなコンピュータが接続されている。

【0003】 例えば、任意の2台のコンピュータ（ノード）間における通信は、両者がどこかでインターネットに接続されている限り、インターネット上で用いることができる。インターネット上でデータ通信用に用いられている最も一般的なプロトコルとしては、TCP/IP（Transport Control / Internet Protocol）があり、このTCP/IP上のレイヤには、様々な通信プロトコルが存在している。

【0004】 例えば、FTP（File Transfer Protocol）は、ファイルを一方のコンピュータから別のコンピュータに転送するのに用いられるプロトコルである。典型的なFTPクライアントは、ファイルのリストを表示して、ディレクトリ構造などを通過できるようにする、ファイルマネージャに似たインターフェースを有している。

【0005】 また、HTTP（Hyper Text Transfer Protocol）は、ほとんどのドキュメントがWWW（World Wide Web）ドキュメントである場合に、ノード間でドキュメントを転送する際に使用されるプロトコルである。典型的なHTTPは、ウェブ・サーバとウェブ・ブラウザのクライアント間で使われている。このHTTPを用いて転送されるドキュメントは、グラフィック要素及びフォームのようないくつかのコンポーネントから構成されている。そのドキュメントは、典型的には標準的なHTML（ハイパーリンクテキスト・マークアップ言語）フォーマットに符号化したもので構成されている。また、ウェブ・ブラウザは、エンドユーザにドキュメントをグラフィックドキュメントなど見せたり、オーディオドキュメントなどを聞かせたりするため、ドキュメント表示することができると共に、一方の参照ドキュメントから別のものにジャンプするため、エンドユーザは、HTTPを用いて提供されるドキュメントがドキュメント網を形成していることを認識することができる。従って、WWWは、HTTPを用いるインターネット上で利用可能な複数のドキュメントをリンクした、ドキュメントの集合体を指す場合に用いられる。

【0006】 基本的には、HTTPはドキュメントトランスポートプロトコルである。現在のHTTPシステムにおいては、HTTPクライアント（通常はネットワークナビゲータやインターネットエクスプローラなどのブラウザ）は、HTTPサーバに対してドキュメントを要求するためのHTTP要求を送り、HTTPサーバ側

は、ユーザがそのドキュメントを読む許可を得れば、そのドキュメントを返送する。仮に、そのドキュメントが複合ドキュメントである場合は、HTTPクライアントは、埋め込まれたドキュメント（一般的にはグラフィックイメージ）への参照を見つけるために返送されたドキュメントを読む。ウェブ・クライアントは、ドキュメントイメージを形成するのに十分なデータを受け取ると、そのドキュメントのイメージを表示する。

【0007】このように、WWWが世界的な広がりを持つようになった理由としては、利用者が単にドキュメントを要求するだけでドキュメント内容が見れるという簡単さによりとるところが大きい。

【0008】近年においては、既存のドキュメントを単に伝送すること以上のことが要求されている。例えば、固定ドキュメントの代わりに、利用者はドキュメントの要求を受け入れられた時に、動的に生成されるドキュメントの受け取りを望むことも可能である。この動的ドキュメントを生成する一つのメカニズムは、CGI (Common Gateway Interface) スクリプトを用いることである。クライアントは、CGIスクリプトにより、URL (Uniform Resource Locator) のフォームでドキュメントを要求する。この場合、URLはサーバ上のドキュメントではなく、サーバのプログラムを参照する。サーバは、そのプログラムによってドキュメントを生成し、クライアントのブラウザに生成したドキュメントを返送する。これにより、ドキュメントを要求し、かつ受け取れるように設定されたブラウザは、サーバ側のコード実行の結果を表示することが許容されたことになる。CGIスクリプトは、ブラウザをサーバ側のデータベースにインタフェース接続するのに用いられ、それらによってサーバの要求がURLとしてサーバに送られ、その結果はドキュメントとして返送される。それらは、サーバ側で実行され、かつブラウザは一切識別しないため、ユーザはCGIをいつ、どのように使用するかを制御することができない。

【0009】もし、そのプログラム処理をクライアント側のコードを書くために用いられるJava言語で書かれたJavaアプレットなどとして、ドキュメントと共に伝送されるならば、ユーザはプログラム実行について、より多くの制御手段を持つことができる。例えば、クライアント側でコードを実行することにより、クライアントはドキュメントを要求し、かつ返送されたドキュメントには、そのドキュメント中に埋め込まれたプログラムコードを含んでいる。クライアント・ブラウザは、クライアント側のコードを知っていなければならないが、受け取りと同時にコードを実行する。このように、クライアント側でコードを実行することにより、ドキュメントのアニメーション画像要素のような簡単な処理を実行するのに最も適した使用法となる。もしそうしなければ、サーバ上で実行するため、伝送するために必要な

通信レートが大きなものになってしまう可能性がある。

【0010】前述したように、JavaアプレットとCGIスクリプトは、その実行の場所は異なるが、実現する機能自体には大きな差はないことになる。

【0011】また、近年、クッキー (cookie) と呼ばれる、ウェブ・サーバとウェブ・クライアントとの間で情報をやり取りする機能が存在している。クッキーは、例えば、ウェブ・ブラウザ上のCGIを使って設定した情報や他の情報をウェブ・クライアント側にファイルとして持つことを可能にする。これにより、次のウェブ・サーバと、ウェブ・クライアントとの通信においては、ウェブ・サーバがウェブ・クライアント側に格納されているファイルを参照して、適当な処理を行うことを可能にしている。例えば、ウェブ・クライアント側には、「貴方は今日5回目のアクセスです！」などのような表示をウェブ・クライアント側に情報を持たせることによって可能にしている。

【0012】近年、インターネットのWWWの技術を使って、複写機、ファクシミリ、プリンタ及びデジタルカメラなどの組み込み機器をLAN (Local Area Network) やWAN (Wide Area Network) などに接続し、パーソナルコンピュータ上のネットワークサーバやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して、組み込み機器を制御するという技術（方向性）が出てきている。このような技術としては、特開平9-325925号公報の「周辺機器を制御するための方法及びその装置」や、特開平10-116295号公報の「ドキュメントエージェンシーシステム」などがある。

【0013】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このような従来のシステムにあっては、ネットワークを介して接続された、例えば、複写機、ファクシミリ、プリンタ及びデジタルカメラなどの組み込み機器などをパーソナルコンピュータ上のウェブ・ブラウザを通して、組み込み機器を制御するという技術が開発されつつあるが、パーソナルコンピュータ側に制御内容に応じたアプリケーションを搭載する必要があるため、上記した組み込み機器内に格納されている各種ファイルの参照や編集を容易に行うことができないという問題があった。

【0014】本発明は、上記課題に鑑みてなされたものであり、パーソナルコンピュータ側に特別なアプリケーションを搭載することなく、デジタルカメラ装置内のメモリに格納されているJPEGファイルの参照や、編集などを容易に行うことができるデジタルカメラ装置の制御システムを提供することを目的とする。

【0015】

【課題を解決するための手段】請求項1に記載の発明は、デジタルカメラ装置とユーザが操作するパーソナルコンピュータとがネットワークを介して接続され、パーソナルコンピュータの汎用的なウェブ・ブラウザを通し

て制御可能なサーバ機能を持ったデジタルカメラ装置の制御システムであって、前記デジタルカメラ装置のメモリ内のJPEGファイルから自動的にサムネールのHTMLドキュメントを作成する手段と、前記JPEGファイルの情報として、編集用のシーケンス番号、記録画素数、記録モード、画質モード、撮影モード、ファイル名、ファイルサイズ、あるいは撮影日時などを表示させる手段と、前記メモリ内のJPEGファイル名から自動的にインデックスのHTMLドキュメントを作成する手段と、前記メモリ内のファイルに対する基本操作を可能とするオペレーションのHTMLドキュメントを作成する手段と、前記オペレーションとしてファイルの削除、ファイル名の変更、ファイルのコピー、あるいはサムネールの表示方式などの操作が可能なCGIなどをHTMLドキュメント内のインラインに挿入する手段と、前記サムネール表示のHTMLドキュメント、インデックス表示のHTMLドキュメント、あるいはオペレーション表示のHTMLドキュメントを多重フレーム表示として一度に表示する手段と、を備えているものである。

【0016】これによれば、メモリ内のJPEGファイルから自動的にサムネールのHTMLドキュメントを作成し、JPEGファイルの情報として、編集用のシーケンス番号や1600×1200や640×480などの記録画素数や、音声ファイルの有無などの記録モードや、フライン、ノーフル、エコノミーなどの画質モードや、通常撮影、マクロ撮影、連射撮影、インターバル撮影、分割撮影などの撮影モードや、ファイル名や、ファイルサイズや、撮影日時などを表示するようにする。メモリ内のJPEGファイル名から自動的にインデックスのHTMLドキュメントを作成する。メモリ内のファイルに対しての基本操作を可能としたオペレーションのHTMLドキュメントを作成する手段を有する。オペレーションとしてファイルの削除やファイル名の変更やファイルのコピーやサムネールの表示方式などの操作が可能なCGIなどをHTMLドキュメント内のインラインに挿入する。サムネール表示のHTMLドキュメント、インデックス表示のHTMLドキュメントおよびオペレーション表示のHTMLドキュメントを多重フレーム表示として一度に表示する。このため、パーソナルコンピュータ間に特別なアプリケーションを搭載することなく、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して、デジタルカメラ装置内のメモリに格納されているJPEGファイルの参照や、編集などを容易に行うことができる。

【0017】また、請求項2に記載の発明は、請求項1に記載のデジタルカメラ装置の制御システムにおいて、前記サムネール表示を行う場合は、連射撮影やインターバル撮影などの撮影モードで撮影されたJPEGファイルを表示する際にJPEGイメージを重ね合わせて表示する手段と、その重ね合わせたJPEGイメージがある

適当な時間間隔で切り替えて表示する手段と、連射撮影やインターバル撮影などの撮影モードで撮影されたJPEGファイルから重ね合わせ表示や切り替え表示を実現するJavaアプレットを自動的にHTMLドキュメント内のインラインに挿入する手段と、をさらに備えているものである。

【0018】これによれば、サムネール表示を行う場合は、連射撮影やインターバル撮影などの撮影モードで撮影されたJPEGファイルを表示する場合には、JPEGイメージを重ね合わせて表示するようにする。そして、その重ね合わせたJPEGイメージがある適当な時間間隔で切り替えて表示するようにする。連射撮影やインターバル撮影などの撮影モードで撮影されたJPEGファイルから、重ね合わせ及び切り替え表示を実現するJavaアプレットを自動的にHTMLドキュメント内のインラインに挿入する。このため、デジタルカメラ装置の撮影モードの連射撮影やインターバル撮影などで撮影された写真の視覚的グルーピングや認識が容易となる。

【0019】また、請求項3に記載の発明は、デジタルカメラ装置とユーザが操作するパーソナルコンピュータとがネットワークを介して接続され、パーソナルコンピュータの汎用的なウェブ・ブラウザを通して制御可能なサーバ機能を持ったデジタルカメラ装置の制御システムであって、前記デジタルカメラ装置のメモリ内のJPEGファイルから自動的にHTML編集用の基本テンプレートに基づいてHTMLドキュメントを作成する手段と、前記HTMLドキュメントの写真部分には前記請求項1で選択されたJPEGファイルをシーケンシャルに挿入する手段と、HTMLドキュメントに表示されている写真情報や文書情報に編集用の番号をシーケンシャルに割り振る手段と、複数のHTML編集用のテンプレートを選択可能にするHTMLドキュメントを作成する手段と、HTMLドキュメント内の写真情報と文書情報を編集するための操作が可能なCGIなどを含んだHTMLドキュメントを作成する手段と、HTML編集用のHTMLドキュメント、および編集作用のHTMLドキュメントを多重フレーム表示として一度に表示する手段と、を備えているものである。

【0020】これによれば、メモリ内のJPEGファイルから自動的にHTML編集用の基本テンプレートに基づいてHTMLドキュメントを作成する。このHTMLドキュメントの写真部分には、上記請求項1で選択された写真をシーケンシャルに挿入し、HTMLドキュメントに表示されている写真情報や文書情報に編集用の番号をシーケンシャルに割り振る。そして、複数のHTML編集用のテンプレートを選択可能にするHTMLドキュメントを作成し、HTMLドキュメント内の写真情報と文書情報を編集するための操作が可能なCGIなどを含んだHTMLドキュメントを作成し、HTML編集用の

HTMLドキュメント、テンプレート選択用のHTMLドキュメント、および編集操作用のHTMLドキュメントを多重フレーム表示として一度に表示するようにする。このため、パーソナルコンピュータ側に特別なアプリケーションを搭載することなく、ネットワークサーバ側データやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して、デジタルカメラ装置内のメモリに格納されているJPEGファイルの参照や編集などを容易に行うことができる。

【0021】また、請求項4に記載の発明は、請求項3に記載のデジタルカメラ装置の制御システムにおいて、前記テンプレート選択用のHTMLドキュメントを作成する場合は、他のサーバ及びパーソナルコンピュータに格納されているHTMLテンプレートを参照することができ、リンク先を表示する手段と、前記リンク先が指示された場合には、参照先に格納されているテンプレートドキュメントを自動的にFTPなどのファイル転送で獲得し、その複数のHTML編集用のテンプレートを選択可能にするHTMLドキュメントを作成する手段と、をさらに備えているものである。

【0022】これによれば、テンプレート選択用のHTMLドキュメントを作成する場合は、他のサーバ及びパーソナルコンピュータに格納されているHTMLテンプレートを参照することができ、リンク先を表示する。リンク先が指示された場合は、参照先に格納されているテンプレートドキュメントを自動的にFTPなどのファイル転送で獲得し、その複数のHTML編集用のテンプレートを選択可能にするHTMLドキュメントを作成する。このため、デジタルカメラ装置に事前登録されているテンプレート以外に、ネットワークに接続されたサーバから自由にテンプレートリソースを参照することができる。

【0023】また、請求項5に記載の発明は、請求項3に記載のデジタルカメラ装置の制御システムにおいて、前記テンプレート選択用のHTMLドキュメントを作成する場合は、他のサーバ及びパーソナルコンピュータに格納されているHTMLテンプレートの格納先を前記ユーザが任意に指定する手段と、前記格納先を指定した場合には、参照先に格納されているテンプレートドキュメントを自動的にFTPなどのファイル転送で獲得し、その複数のHTML編集用のテンプレートを選択可能にするHTMLドキュメントを作成する手段と、をさらに備えているものである。

【0024】これによれば、テンプレート選択用のHTMLドキュメントを作成する場合は、他のサーバ及びパーソナルコンピュータに格納されているHTMLテンプレートの格納先を任意にユーザが指定する。格納先を指示した場合は、参照先に格納されているテンプレートドキュメントを自動的にFTPなどのファイル転送で獲得し、その複数のHTML編集用のテンプレートを選択可能にするHTMLドキュメントを作成する。このため、

デジタルカメラ装置に事前に登録されているテンプレート以外にネットワークに接続されたサーバから自由にテンプレートリソースを参照することができる。

【0025】また、請求項6に記載の発明は、デジタルカメラ装置とユーザが操作するパーソナルコンピュータとがネットワークを介して接続され、パーソナルコンピュータの汎用的なウェブ・ブラウザを通して制御可能なサーバ機能を持ったデジタルカメラ装置の制御システムであって、前記デジタルカメラ装置に最初にアクセスする時に、前記ユーザを識別するパスワードやIDを入力するHTMLドキュメントを作成して表示させる手段と、前記パスワードやIDに対して、前記請求項1における表示方式のデフォルト値、前記請求項3におけるテンプレートのデフォルト値、前記請求項4および5における参照先のデータなどを前記デジタルカメラ装置側で記憶しておく手段と、前記パスワードやIDに対応したユーザデータを使って前記請求項1における表示方式のデフォルト値、前記請求項3におけるテンプレートのデフォルト値、前記請求項4および5における参照先のデータなどを表示する手段と、を備えているものである。

【0026】これによれば、デジタルカメラ装置に最初にアクセスする時に、ユーザを識別するパスワードやIDを入力するHTMLドキュメントを作成し表示する。そのパスワードやIDに対して上記請求項3における表示方式のデフォルト値、上記請求項3におけるテンプレートのデフォルト値、上記請求項4および請求項5における参照先のデータなどをデジタルカメラ装置側で記憶する。そして、パスワードやIDに対応したユーザデータを使って、上記請求項1における表示方式のデフォルト値、上記請求項3におけるテンプレートのデフォルト値、請求項4および請求項5における参照先のデータなどを表示する。このため、パーソナルコンピュータ側に特別なアプリケーションを搭載することなく、ネットワークサーバデータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して表示されるHTMLドキュメントをアクセスしているユーザ毎にカスタマイズすることが可能となり、ユーザ毎に異なるHTMLドキュメントを作成することができる。

【0027】また、請求項7に記載の発明は、デジタルカメラ装置とユーザが操作するパーソナルコンピュータとがネットワークを介して接続され、パーソナルコンピュータの汎用的なウェブ・ブラウザを通して制御可能なサーバ機能を持ったデジタルカメラ装置の制御システムであって、前記請求項1における表示方式のデフォルト値、前記請求項3におけるテンプレートのデフォルト値、前記請求項4および5における参照先のデータなどをクッキー技術を使って前記ウェブ・ブラウザのクライアント側にユーザデータを作成して記憶する手段と、前記クライアント側で作成された前記ユーザデータを使って、前記請求項1における表示方式のデフォルト値、前

記請求項3におけるテンプレートのデフォルト値、前記請求項4および5における参照先のデータなどを表示する手段と、を備えているものである。

【0028】これによれば、上記請求項1における表示方式のデフォルト値や、上記請求項3におけるテンプレートのデフォルト値や、上記請求項4および請求項5における参照先のデータなどをcookieなどの技術を使ってクライアント側にユーザデータを作成し記憶する。そして、クライアント側で作成されたユーザデータを使って、上記請求項1における表示方式のデフォルト値や、上記請求項3におけるテンプレートのデフォルト値や、上記請求項4および請求項5における参照先のデータなどを表示する。このため、パーソナルコンピュータ側に特別なアプリケーションを搭載することなく、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して表示されるHTMLドキュメントをアクセスしているユーザ毎にカスタマイズすることが可能となり、ユーザ毎に異なるHTMLドキュメントを作成することが可能である。

【0029】また、請求項8に記載の発明は、デジタルカメラ装置とユーザが操作するパーソナルコンピュータとがネットワークを介して接続され、パーソナルコンピュータの汎用的なウェブ・ブラウザを通して制御可能なサーバ機能を持ったデジタルカメラ装置の制御システムであって、前記デジタルカメラ装置に最初にアクセスする時に、前記ウェブ・ブラウザのクライアント側のIPアドレスに対して、前記請求項1における表示方式のデフォルト値、前記請求項3におけるテンプレートのデフォルト値、前記請求項4および5における参照先のデータなどを表示する手段と、を備えているものである。

【0030】これによれば、デジタルカメラ装置に最初にアクセスする時に、クライアント側のIPアドレスに対して上記請求項1における表示方式のデフォルト値や、上記請求項3におけるテンプレートのデフォルト値や、上記請求項4および請求項5における参照先のデータなどをデジタルカメラ装置側で記憶しておく。そして、IPアドレスに対応したユーザデータを使って、上記請求項1における表示方式のデフォルト値や、上記請求項3におけるテンプレートのデフォルト値や、上記請求項4および請求項5における参照先のデータなどを表示する。このため、パーソナルコンピュータ側に特別なアプリケーションを搭載することなく、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して表示されるHTMLドキュメントをアクセスしているユーザ毎にカスタマイズすることが

可能となり、ユーザ毎に異なるHTMLドキュメントを作成することができる。

【0031】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面に基づいて詳細に説明する。まず、本発明の実施の形態に共通のネットワーク構成およびシステム構成について説明する。図1は、本発明におけるネットワーク構成を示す図である。図1に示したネットワーク構成は、ネットワーク10と、携帯電話28と、デジタルカメラ装置16、20、26と、パーソナルコンピュータ（以下、PC）18、22、24と、ローカルエリアネットワーク（以下、LAN）12、14などを備えている。

【0032】そして、上記デジタルカメラ装置16、20、26には、HTTPサーバの機能と通信機能とが搭載されていると共に、上記PC18、22、24には、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザが搭載されているものとする。

【0033】デジタルカメラ装置26は、携帯電話28を使ってPPP接続され、ネットワーク（ここでは、インターネット）10に接続されている。また、デジタルカメラ装置16およびPC18は、それぞれLAN12に接続されていて、LAN12経由でネットワーク10に接続されている。さらに、デジタルカメラ装置20とPC22とPC24は、それぞれLAN14に接続され、LAN14経由でネットワーク10に接続されている。

【0034】本発明では、インターネットのWWW (World Wide Web) の技術を使って、PC18、22、24上のネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して、デジタルカメラ装置16、20、26を制御する。

【0035】デジタルカメラ装置16、20、26に実装されている基本プラットフォームの一例としては、特開平9-325925号公報の「周辺機器を制御するための方法及びその装置」、あるいは、特開平10-116295号公報の「ドキュメントエージェンシーシステム」などに開示されたものがあるが、本発明では、特開平9-325925号公報と特開平10-116295号公報の技術を基本プラットフォームとした時のデジタルカメラ装置におけるアプリケーションもしくはサービスを提供することができる。

【0036】PC18、22、24は、デジタルカメラ装置を制御するための特別なアプリケーションソフトをインストールすることなく、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通してデジタルカメラ装置16、20、26を制御することができる。PC18、22、24からは、インターネットを経由して、デジタルカメラ装置16、20、26の任意の装置に対してアクセスすることが可能



である。

【0037】図2は、本発明のシステム構成を示す図である。本発明のシステムは、デジタルカメラ装置30、ネットワーク（ここでは、インターネット）32、およびPC34などで構成されている。デジタルカメラ装置30には、データ301とウェブ・サーバ機能を持ったウェブ・サーバ302とが実装されている。このデータ301には、HTMLフォーマットのデータや、CGIを実現するプログラム、Javaアプレット、撮影されたJPEG（写真）ファイル、その他管理データなどが格納されている。ウェブ・サーバ302には、先に記述したCGI機能、Java機能、クッキー機能のようなものが適宜組み込み機器に対応した形で実装されている。

【0038】PC34には、ウェブ・ブラウザ341が実装されており、Javaアプレットの実行やクッキー機能が実現されている。ユーザ36は、PC34の操作者である。

【0039】本発明では、以上のようなシステム構成を持つことによって、ユーザ36がPC34のウェブ・ブラウザ341を起動し、デジタルカメラ装置30のデータ301に格納されているHTMLファイル、もしくはプログラムファイルなどのURLを指定することによりアクセスすることができる。

【0040】（実施の形態1）図3は、本実施の形態1におけるHTMLドキュメント構成図である。本実施の形態1では、図1に示すようなネットワーク構成下において、図2に示すようなシステム構成を備えており、PCの汎用的なウェブ・ブラウザを通して図3に示すようなHTMLドキュメントを表示させる。このHTMLドキュメントは、デジタルカメラ装置30に付属または内蔵されたメモリ内のJPEG（写真）ファイルから自動的にサムネールのHTMLドキュメントを作成するようにする。個々のJPEG表示部分やファイル名は、それぞれ元の解像度で表示するようHTMLドキュメントがリンクされている。

【0041】JPEGファイルの情報としては、例えば、縮小用のシーケンス番号、1600×1200や640×480などの記録画素数、音声ファイルの有無などの記録モード、ファイン、ノーマル、エコノミーなどの画質モード、通常撮影、マクロ撮影、連射撮影、インターバル撮影、分割撮影などの撮影モード、ファイル名、ファイルサイズ、あるいは撮影日時などを表示するようになる。メモリ内のJPEGファイル名から自動的にインデックスのHTMLドキュメントを作成する。このため、インデックスをアクセスすると、ファイル名に対応したJPEGファイルが右上の位置に来るようにサムネール表示を自動的にスクロールする。

【0042】メモリ内のファイルに対する基本操作を可能としたオペレーションのHTMLドキュメントを作成

する。オペレーションとしては、ファイルの削除、ファイル名の変更、ファイルのコピー、サムネールの表示方式などの操作が可能なCGIなどをHTMLドキュメント内のインラインに挿入する。

【0043】ファイルの削除やファイルのコピーは、サムネール表示で割り振られているシーケンス番号を指定する。例えば、「1」と入力すれば1の番号のファイルが指定され、「1-5」と入力すれば1-5の番号のファイルが指定される。また、「A」と入力すれば全ファイルが指定される。ファイル名の変更は、現在のファイル名と新しいファイル名とを入力する。表示フォーマットは、TYPE1～TYPE4の何れかをクリックして指定する。

【0044】上記のような操作入力ユーザ36側で行った後、「実行」を選択すると該当する処理が行われて、新たにサムネール表示のHTMLドキュメントが作成される。また、「キャンセル」を選択すると上記操作入力されたデータがクリアされる。サムネール表示のHTMLドキュメント、インデックス表示のHTMLドキュメント、およびオペレーション表示のHTMLドキュメントは、多重フレームとして一度に表示される。

【0045】このように、本実施の形態1によれば、以上述べた処理を行うことにより、PC側に特別なアプリケーションを搭載することなく、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して、デジタルカメラ装置内のメモリに格納されているJPEGファイルの参照や編集などを容易に行うことができる。

【0046】（実施の形態2）図4は、本実施の形態2におけるHTMLドキュメント構成図である。本実施の形態2では、図1に示すようなネットワーク構成下において、図2に示すようなシステム構成を備えており、PCの汎用的なウェブ・ブラウザを通して図4に示すようなHTMLドキュメントを表示させる。本実施の形態2においては、上記実施の形態1におけるサムネール表示で連射撮影やインターバル撮影などの撮影モードで撮影されたJPEGファイルを表示する場合、図4中のAで示した部分にJPEGイメージを重ね合わせて表示するようにする。そして、その重ね合わせたJPEGイメージをある適当な時間間隔で切り替えて表示する。このように、連射撮影やインターバル撮影などの撮影モードで撮影されたJPEGファイルから、重ね合わせ及び切り替え表示を実現するJavaアプレットを自動的にHTMLドキュメント内のインラインに挿入する。

【0047】また、インデックス表示についても、連射撮影やインターバル撮影のグルーピングが認識できるようにレイアウトする。

【0048】このように、本実施の形態2によれば、以上述べた処理を行うことにより、デジタルカメラ装置の撮影モードの連射撮影、インターバル撮影などで撮影さ

れた写真の視覚的グルーピングを行うことにより、容易に認識することができる。

【0049】（実施の形態3）図5は、本実施の形態3におけるHTMLドキュメント構成図である。本実施の形態3では、図1に示すようなネットワーク構成下において、図2に示すようなシステム構成を備えており、PCの汎用的なウェブ・ブラウザを通して図5に示すようなHTMLドキュメントを表示させる。本実施の形態3においては、デジタルカメラ装置30のメモリ内のJPEGファイルから自動的にHTML編集用の基本テンプレートに基づいてHTMLドキュメントを作成する。

【0050】このHTMLドキュメントの写真部分には、上記実施の形態1で選択された写真をシーケンシャルに挿入する。そして、HTMLドキュメントに表示されている写真情報や文章情報に編集用の番号をシーケンシャルに割り振り、複数のHTML編集用のテンプレートを選択可能にするHTMLドキュメントを作成する。

【0051】図5に示すHTMLドキュメントのテンプレート選択画面から任意のテンプレートを選択すると、自動的にHTML作成用の表示を選択したテンプレートに置き換わって、HTMLドキュメントを作成し直す。例えば、HTMLドキュメント内の写真情報と文章情報とを編集するための操作が可能なCGIスクリプトなどを含むHTMLドキュメントを作成する。

【0052】文書を入力したい場合は、図5の文書番号欄に挿入部分の番号を指定し、文書入力欄に文書を書き込む。また、表示画像を入れ替えた場合は、入れ替えた画像の番号を入替画像番号欄で指定し、置き換える画像のファイル名を入替画像名欄に書き込む。また、文書や画像を削除したい場合は、削除した部分の文書番号や画像番号をそれぞれ削除文書欄や削除画像欄に書き込んで指定する。

【0053】上記した入力作業をユーザ36が行った後、「実行」が選択されると、自動的にHTML編集の表示を入力したデータが反映される形でHTMLドキュメントが作成される。HTML編集用のHTMLドキュメント、テンプレート選択用のHTMLドキュメント、あるいは編集操作用のHTMLドキュメントを多重フレーム表示として一度に表示される。

【0054】このように、本実施の形態3によれば、以上述べた処理を行うことにより、PC側に特別なアプリケーションソフトを搭載することなく、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して、デジタルカメラ装置内のメモリに格納されているJPEGファイルを使ったHTMLの編集を容易に行うことができる。

【0055】（実施の形態4）本実施の形態4については、上記実施の形態3におけるHTMLドキュメント構成図の図5を参照しながら説明する。本実施の形態4では、図1に示すようなネットワーク構成下において、図

2に示すようなシステム構成を備えており、PCの汎用的なウェブ・ブラウザを通して図5中のBで示した部分のような表示を行うようにする。

【0056】本実施の形態4においては、上記実施の形態3のテンプレート選択用のHTMLドキュメントを作成する際に、他サーバ及びPCに格納されているHTMLテンプレートを参照できるようにリンクを表示するものである。このようなリンク先が指定された場合は、参照先に格納されているテンプレートドキュメントを自動的にFTPなどのファイル転送で獲得して、その複数のHTML編集用のテンプレートを選択可能にするHTMLドキュメントが作成される。

【0057】このように、本実施の形態4によれば、以上述べた処理を行うことにより、デジタルカメラ装置に事前に登録されているテンプレート以外に、ネットワークに接続されたサーバから自由にテンプレートリソースを参照することができる。

【0058】（実施の形態5）本実施の形態5については、上記実施の形態3におけるHTMLドキュメント構成図の図5を参照しながら説明する。本実施の形態5では、図1に示すようなネットワーク構成下において、図2に示すようなシステム構成を備えており、PCの汎用的なウェブ・ブラウザを通して図5中のCで示した部分のような表示を行うようにする。

【0059】本実施の形態5においては、上記実施の形態3のテンプレート選択用のHTMLドキュメント作成する際に、他サーバ及びPCに格納されているHTMLテンプレートの格納先を任意にユーザが指定する。格納先を指定した場合は、参照先に格納されているテンプレートドキュメントを自動的にFTPなどのファイル転送で獲得し、その複数のHTML編集用のテンプレートを選択可能にするHTMLドキュメントが作成される。

【0060】このように、本実施の形態5によれば、以上述べた処理を行うことにより、デジタルカメラ装置に事前に登録されているテンプレート以外に、ネットワークに接続されたサーバから自由にテンプレートリソースを参照することができる。

【0061】（実施の形態6）本実施の形態6では、図1に示すようなネットワーク構成下において、図2に示すようなシステム構成を備えており、PCの汎用的なウェブ・ブラウザを通して制御可能なサーバ機能をデジタルカメラ装置が持っている。ユーザ36がPC34からデジタルカメラ装置に最初にアクセスする時は、ユーザを識別するパスワードやIDを入力するHTMLドキュメントを作成して表示する。このようなパスワードやIDに対して、上記実施の形態1における表示方式のデフォルト値、上記実施の形態3におけるテンプレートのデフォルト値、あるいは、上記実施の形態4および5における参照先のデータなどをデジタルカメラ装置30内で記憶できるようにする。このパスワードやIDに対応した

ユーザデータを使って、上記実施の形態1における表示方式のデフォルト値、上記実施の形態3におけるテンプレートのデフォルト値、上記実施の形態4および5における参照先のデータなどを表示するようにする。

【0062】このように、本実施の形態6によれば、以上述べた処理を行うことにより、P C側に特別なアプリケーションソフトを搭載することなく、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して表示されるHTMLドキュメントをアクセスしているユーザ毎にカスタマイズすることが可能となり、また、ユーザ毎に異なるHTMLドキュメントを作成することができる。

【0063】(実施の形態7)本実施の形態7では、図1に示すようなネットワーク構成下において、図2に示すようなシステム構成を備えており、P Cの汎用的なウェブ・ブラウザを通して制御可能なサーバ機能をデジタルカメラ装置が持っている。上記実施の形態1における表示方式のデフォルト値、上記実施の形態3におけるテンプレートのデフォルト値、あるいは、上記実施の形態4および5における参照先のデータなどをクッキーなどの技術を使ってクライアント側にユーザデータを作成して記憶させる。ユーザ36は、クライアント側で作成されたユーザデータを使って、上記実施の形態1における表示方式のデフォルト値、上記実施の形態3におけるテンプレートのデフォルト値、あるいは、上記実施の形態4および5における参照先のデータなどを表示するようにする。

【0064】このように、本実施の形態7によれば、以上述べた処理を行うことにより、P C側に特別なアプリケーションソフトを搭載することなく、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して表示されるHTMLドキュメントをアクセスしているユーザ毎にカスタマイズすることが可能となり、また、ユーザ毎に異なるHTMLドキュメントを作成することができる。

【0065】(実施の形態8)本実施の形態8では、図1に示すようなネットワーク構成下において、図2に示すようなシステム構成を備えており、P Cの汎用的なウェブ・ブラウザを通して制御可能なサーバ機能をデジタルカメラ装置が持っている。ユーザ36がP C34からデジタルカメラ装置に最初にアクセスする時は、クライアント側のI Pアドレスに対して、上記実施の形態1における表示方式のデフォルト値、上記実施の形態3におけるテンプレートのデフォルト値、上記実施の形態4および5における参照先のデータなどをデジタルカメラ装置30側で記憶するようにする。そして、I Pアドレスに対応したユーザデータを使って、上記実施の形態1における表示方式のデフォルト値、上記実施の形態3におけるテンプレートのデフォルト値、上記実施の形態4および5における参照先のデータなどを表示するようにす

る。

【0066】このように、本実施の形態8によれば、以上述べた処理を行うことにより、P C側に特別なアプリケーションソフトを搭載することなく、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して表示されるHTMLドキュメントをアクセスしているユーザ毎にカスタマイズすることが可能となり、また、ユーザ毎に異なるHTMLドキュメントを作成することができる。

【0067】

【発明の効果】以上説明したように、本発明のデジタルカメラ装置の制御システム(請求項1)によれば、パーソナルコンピュータ側に特別なアプリケーションを搭載することなく、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して、デジタルカメラ装置内のメモリに格納されているJ P E Gファイルの参照や、編集などを容易に行うことができる。

【0068】また、本発明のデジタルカメラ装置の制御システム(請求項2)によれば、デジタルカメラ装置の撮影モードの連射撮影やインターバル撮影などで撮影された写真の視覚的ルーピングや認識が容易となる。

【0069】また、本発明のデジタルカメラ装置の制御システム(請求項3)によれば、パーソナルコンピュータ側に特別なアプリケーションを搭載することなく、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して、デジタルカメラ装置内のメモリに格納されているJ P E Gファイルの参照や編集などを容易に行うことができる。

【0070】また、本発明のデジタルカメラ装置の制御システム(請求項4)によれば、デジタルカメラ装置に事前に登録されているテンプレート以外に、ネットワークに接続されたサーバから自由にテンプレートリソースを参照することができる。

【0071】また、本発明のデジタルカメラ装置の制御システム(請求項5)によれば、デジタルカメラ装置に事前に登録されているテンプレート以外にネットワークに接続されたサーバから自由にテンプレートリソースを参照することができる。

【0072】また、本発明のデジタルカメラ装置の制御システム(請求項6)によれば、パーソナルコンピュータ側に特別なアプリケーションを搭載することなく、ネットスケープナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して表示されるHTMLドキュメントをアクセスしているユーザ毎にカスタマイズすることが可能となり、ユーザ毎に異なるHTMLドキュメントを作成することができる。

【0073】また、本発明のデジタルカメラ装置の制御システム(請求項7)によれば、パーソナルコンピュータ側に特別なアプリケーションを搭載することなく、ネ

ットスケーパナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して表示されるHTMLドキュメントをアクセスしているユーザ毎にカスタマイズすることが可能となり、ユーザ毎に異なるHTMLドキュメントを作成することができる。

【0074】また、本発明のデジタルカメラ装置の制御システム（請求項8）によれば、パーソナルコンピュータ側に特別なアプリケーションを搭載することなく、ネットスケーパナビゲータやインターネットエクスプローラなどのウェブ・ブラウザを通して表示されるHTMLドキュメントをアクセスしているユーザ毎にカスタマイズすることが可能となり、ユーザ毎に異なるHTMLドキュメントを作成することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明におけるネットワーク構成を示す図である。

【図2】本発明のシステム構成を示す図である。

【図3】本実施の形態1におけるHTMLドキュメント

構成図である。

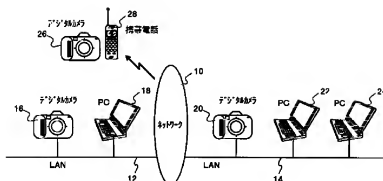
【図4】本実施の形態2におけるHTMLドキュメント構成図である。

【図5】本実施の形態3におけるHTMLドキュメント構成図である。

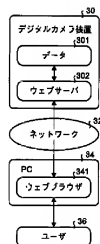
【符号の説明】

- 10 ネットワーク
- 12、14 LAN（ローカルエリアネットワーク）
- 16、20、26 デジタルカメラ装置
- 18、22、24 PC（パーソナルコンピュータ）
- 28 携帯電話
- 30 デジタルカメラ装置
- 301 データ
- 302 ウェブ・サーバ
- 32 ネットワーク
- 34 PC（パーソナルコンピュータ）
- 341 ウェブ・ブラウザ

【図1】



【図2】



【図3】

インデックス		サムネール表示		
1.003980.JPG	1.003980.JPG	2.003980.JPG	3.003980.JPG	
2.003980.JPG				
3.003980.JPG				
4.003980.JPG				
5.003980.JPG				
6.003980.JPG				
7.003980.JPG				
8.003980.JPG				
9.003980.JPG				
10.003980.JPG				
11.003980.JPG				
12.003980.JPG				
13.003980.JPG				
14.003980.JPG				
15.003980.JPG				
17.003980.JPG				

縮小番号	ファイル名変更	表示フォーマット	<input type="checkbox"/> TYPE1
コピー番号			<input type="checkbox"/> TYPE2
			<input type="checkbox"/> TYPE3
			<input type="checkbox"/> TYPE4
		キャンセル	実行

【図4】

インデックス		サムネール表示			
1.003980.JPG	1.003980.JPG	2.003980.JPG	3.003980.JPG		
2.003980.JPG					
3.003980.JPG					
4.003980.JPG					
5.003980.JPG					
6.003980.JPG					
7.003980.JPG					
8.003980.JPG					
9.003980.JPG					
10.003980.JPG					
11.003980.JPG					
12.003980.JPG					
13.003980.JPG					
14.003980.JPG					
16.003980.JPG					
17.003980.JPG					

縮小番号	ファイル名変更	表示フォーマット	<input type="checkbox"/> TYPE1
コピー番号			<input type="checkbox"/> TYPE2
			<input type="checkbox"/> TYPE3
			<input type="checkbox"/> TYPE4
		キャンセル	実行

【図5】

テンプレート

001:IT1ML  
002:IT1ML  
003:IT1ML  
004:IT1ML  
005:IT1ML  
006:IT1ML  
007:IT1ML  
008:IT1ML  
009:IT1ML  
010:IT1ML

Manual

1. 文書番号

文書を入力して下さい。

2.000000.JPG

2. 文書番号

文書を入力して下さい。

3. 文書番号

3.000000.JPG

文書を入力して下さい。

文書番号

用紙番号

入替機番号

入替機種名

印刷文字

印刷位置

キャンセル

実行